

京都府八幡市

京都府八幡市八幡園内75番地〒614-8501

担当課：健康部健康推進課

☎ 075-983-1111

FAX 075-982-7988

Eメール：kenkosuisin@mb.city.yawata.kyoto.jp

本市のデータ

- (1)面積 24.37km² 最大幅は東西約6.7km、南北約8.5kmである。
- (2)総人口 73,928人 (平成24年3月末現在)
- (3)世帯数 31,368件 (平成24年3月末現在)
- (4)23年度出生数 631人
- (5)高齢化率 22.8%
- (6)沿革

明治22年、町村制施行により現在の市域に、八幡町、都々城村、有智郷村が設けられ、昭和29年にこの3町村が合併して人口1万6千人の新しい八幡町になりました。昭和50年には人口5万人(国勢調査)を超え、昭和52年11月1日に市制を施行、京都府下で11番目の市となる八幡市が誕生しました。

本市の概要

八幡の歴史は古く、市域の南西部丘陵地から約2万年前の石器が出土しており、すでに旧石器時代には人が生活していたことがうかがえます。古代から近世からに至るまで、交通手段として木津川や淀川の水路の利用が高まるとともに、山陰や奈良、京都へと通じる交通の要衝として重要な役割を担ってきました。貞観元年(859年)、平安京を鎮護するため、九州から八幡神が勧請され、男山に石清水八幡宮が建立されてからは、その門前町として発展しました。

江戸時代から明治にかけては、農作物の開発や栽培が盛んとなり、京都、大阪という大消費地を抱え、豊かな田園の広がる近郊農村としても発達しました。

明治の末期になると市域の北端を通る鉄道が開通し、交通手段の発達に伴って、淀川水運の要衝としての本市の役割は次第に低下しました。

昭和30年代における京都・大阪都市圏の広がり、近隣地域への人口の分散、ベッドタウン化をもたらしました。本市は2大都市圏の中間に位置するという立地条件もあって住宅適地として脚光を浴び、昭和40年代以降日本住宅公団(現独立法人都市再生機構)による男山団地の開発が主因となって、全国屈指の人口急増をみるに至りました。昭和52年の市制施行後も人口は増え続け、平成5年1月末現在76,467人とピークを迎えましたが、これ以降は漸減傾向にあります。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

現在検討中

<具体的な取組み>

①パンフレットを、市内18ヶ所の健康コーナーに設置し、啓発に努めている。